

若者の自死予防を考えるセミナー

若者の「死にたい、助けて」に どう対応するか

県内の自殺者数全体に占める割合及び自殺死亡率（人口 10 万人対の自殺者数）は、男女ともに 20 歳代から 40 歳代までにおいて全国より高く、「自死」が 10 歳代から 30 歳代までの最も多い死因となっています。また、学校問題を理由とする自殺者数が横ばいで推移し、特に大学生の割合が高い特徴が見られます。また世界的にみても、日本だけが 10 代・20 代の死因のトップが自殺という現状があります。若者の大切な救える命について、一緒に考えませんか？このセミナーでは「インターネット・ゲートキーパー（夜回り 2.0）」の手法を開発・実施し、自死予防の取り組みにおいて第一人者でいらっしゃる伊藤次郎氏（NPO 法人 OVA 代表理事）を講師にお迎えし、今私たちができること、取り組めることについて共に考えていきたいと思っております。



講師

伊藤 次郎氏

NPO 法人 OVA 代表理事
精神保健福祉士

■日時：令和元年 11 月 7 日（木）

13:30～16:30（受付 13:00～）

（第一部：講演／第二部：グループワーク）

■場所：仙台市市民活動サポートセンター 6 階セミナーホール

（仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-3）

■対象：大学関係者・教育関係者・精神保健関係者、テーマに関心のある方

■料金：無料

■定員：30 名 お席に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい

■申込：申込書（裏面）にて FAX・メール・お電話にてお申し込み下さい

FAX：022(762)5853 電話：022(762)5851

メール：info@npo-switch.org

■〆切：11 月 6 日（水）

主催・問い合わせ先：認定 NPO 法人 Switch 事務局：高橋・小関

仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 東口鳳月ビル 602

TEL：022-762-5851 Mail：info@npo-switch.org

【講師紹介】



伊藤 次郎氏 (Jiro ITO)

NPO 法人 OVA 代表理事 ソーシャルワーカー (精神保健福祉士)

学習院大学法学科卒業

メンタルヘルス対策を企業等に提供する人事コンサルティング会社 (EAP プロバイダー)、精神科クリニックを経て、日本の若者の自殺が深刻な状況にあることに問題意識が芽生え、マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者のリーチしようと「インターネット・ゲートキーパー (夜回り 2.0)」の手法を開発・実施し、2014 年 NPO 法人 OVA を設立。リスティング広告などのインターネット広告を通じて自殺ハイリスク者に介入し、現物の社会資源につなぐ活動は世界的にも前例なく、2013 年 12 月には「WHO 世界自殺レポート会議及び関連行事」にて協力関係にある末木新氏 (和光大学) によって活動が紹介された。

その後ロサンゼルスタイムズ、朝日新聞「社説」など国内外のマスメディアに多数コメントが掲載され、内閣官房の有識者ヒアリングや関係省庁へ要望書を通じて、ネット上にあふれる若者の SOS の現状とニーズに合わせたインターネット上での相談窓口設置の重要性を国に訴えた。自殺ハイリスク者への支援に関するスーパービジョン、研修・講演等も積極的に行っている。

若者の自死予防を考えるセミナー 参加申込書

申込先: 認定 NPO 法人 Switch

① 氏名 (ふりがな)	
② ご所属先	
③ 電話番号 (連絡先)	
④ ご住所 (勤務先可)	
⑤ メールアドレス	

上記をご記入の上、FAX もしくはメールにてお申し込みください。

※団体で複数の申込の場合は①氏名欄に複数名をご記入ください。

FAX : 0 2 2 (7 6 2) 5 8 5 3 MAIL : info@npo-switch.org

主催・問い合わせ先 : 認定 N P O 法人 Switch 事務局 : 高橋・小関

仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 東口鳳月ビル 602
TEL : 022-762-5851 Mail : info@npo-switch.org